

シンプルなナチュラルハウスに住む。



小さな吹き抜けがあり、ゆったりくつろげるダイニング空間。



木酢トドマツウッドと塗り壁仕上げの外観。



a ユーティリティの床は、天然長尺床材リノリューム。



b 製作家具で収納たっぷりの玄関ホール。



和紙張り仕上げの和室。



こだわりの道産トドマツ材による木製キッチン。



ナラのフローリングと珪藻土仕上げのリビング。

有限会社 BioPlus 西條デザイン

本社:〒002-8081 札幌市北区百合が原4丁目8-1
 Tel.011-774-8599 Fax.011-774-8581

伊達支店:〒052-0014 伊達市舟岡町50-28
 Tel.0142-22-0138 Fax.0142-22-0139
 www.saijo-d.com

©「Natural Lifestyle えこすた」連載中(P40~P43)

09 資料請求番号
 かわいい企業情報はp.124の
 ビルダーINDEXをご覧ください。

のチップが濃きこまれていて、粒の大きさで表情が変わるので、好みのテクスチャーをセレクト。真っ白な質感の壁紙として、そのまま使っても違和感がなく、なんといってもリーズナブルな価格が魅力的だ。もともと塗装用下地材のため、薬品処理を省略しているのが幸いして、嫌な臭いもまったくない。

オーナー自身が家づくりに参加するセルフビルドでは、珪藻土やホタテ漆喰壁を家族みんなで仕上げるようになった。はじめてとは思えないなかの出来ばえで、我が家への愛着もいちだと深めたことだろう。

納得するまで土地を選び、プランニングと素材選びにも時間をかけた7年越しの住まいづくり。家族念願のナチュラルハウスが、ついに完成したのである。

窓の素材選択は、予算調整の面で大きなウエイトを占めるため、サッシはプラスチック樹脂を採用したが、玄関ドアには重量感のある無垢の断熱仕様で風格ある表情に。

天井の仕上げに採用したウッドチップペーパーは、ドイツ製の塗装下地用の壁紙である。木

北海道の木で建てた、自然素材の家に住みたい。そんな思いのもと、限られた予算内での健康的な住まいづくりがはじまった。

新建材と合板を多用した一般的な住宅の場合、ドラム缶にしておよそ1本以上の接着剤を使うことになる。健康と環境負荷を考えると、接着剤に含まれる化学物質の使用を最小限にすることは、とても大切なことだ。

そこで、地材地消の精神に基づき、循環型建材の代表である北海道産の木材を厳選。合板を使わずに、無垢の木と新聞古紙の断熱材を中心とした、木と土でできた住まいづくりを志向した。

床は道産ナラ材の無垢のフローリング。仕上げには、自然素材によるミツロウワックスを塗って、ナチュラルな質感に。

道産トドマツの無垢材でオーダーしたシンプルなオリジナル仕様のキッチンをはじめ、家具・建具も自慢のひとつ。木製家具や室内の仕上げには、国産の自然系塗料を使用。輸入品のドイツ製に比べると、ずいぶんコストダウンにもなっている。

札幌市 OT邸

工法
 在来工法

標準工期
 120日

プラン
 自由設計

写真©GINO PHOTO WORKS